

米軍の戦略に引き込まれる日本――

動き出した安保新ガイドライン

――浜松AWACS配備もその一つ！

◎ 来る三月二五日、ついに、浜松基地にAWACS二機が配備されます。

防衛施設局は導入の必要性について「諸外国の航空軍事技術の進歩に対応し、早期警戒監視の体制を維持するため」と説明していますが、日本の周辺はもとより、アジア全体を見渡しても、AWACSで監視しなければならないような高度の軍事技術を持っている国は一つありません。日本には、AWACSによる監視は必要がないのです。

◎ アジアで、航空技術の一番進歩している国は、わが日本です。アジアの国々に対して最も脅威を与えているのは、ほかならぬ日本国自身なのです。

◎ AWACSで集めた情報は、米軍が戦争を始めた時はもちろん、日常的にも米軍に提供されるでしょう。従って、日本のためにではなく、日米共同作戦のために配備されると考えて間違いないでしょう。

◎ 去る一月一七日、イラクへ向かう途中の米空母「インデペンデンス」の艦載機FA18ホーネットが浜松基地に「緊急着陸」するという、戦後初めての大事件が起きました。給油のため、と言っていますが、米軍の基地でもないのに、なぜ、わがもの顔で着陸できるのでしょうか。浜松に米軍基地があるような態度です。これは、日米安保新ガイドラインが動き出したとしか考えられません。危ないかな！米軍の戦略に引き込まれるわが日本よ！

◎ 憲法の前文に「再び政府の行為によって、戦争の惨禍を招くことのないよう」と書いてありますが、今や、再び政府の手によってAWACSが浜松基地に配備され、米軍の起こす戦争に巻き込まれる可能性が出てきました。

◎ 三月一五日（日）午後一時半・浜松城公園で、『AWACSはいらない市民の集い』が、開催されます。浜松市を再び戦火で焼け野原としたりたくない市民の皆さん！一人でも多く集まって、『AWACS反対』を叫ぼうではありませんか。

一九九八年三月八日（日）第三七三回・憲法を守る平和行進

浜松市憲法を守る会

事務局 浜松市紺屋町三〇一〇十五